

平成29年度「校外へ公開する研究授業」実施報告書

学校名

松本深志

課程 全日制

本年度実施した「校外の人々を対象とした研究授業」について、次のとおり本校ホームページに掲載したことを報告します。

ホームページ掲載日	平成 29年 10月 26日 (木)						
実施年月日(曜)	平成29年10月10日 (火)						
授業時間(時限)	1時10分～2時15分 (4時限)						
公開学年・公開教科(公開授業名)	2学年・理科(地学基礎)						
授業者名	井口智長						
形態	初任研・中堅研・教育課程研究委員会・ ○その他(21世紀型教育モデル校公開による研究授業)						
授業公開対象者	県内高校教員, 県教委						
授業参観者数	校内		校外			その他 (県教委)	合計
	教職員	保護者	教職員	地域住民等	生徒		
	3人	0人	2人	0人	0人	2人	7人
校外の人々の参観にあたって特に配慮した取組	なし						
授業研究会の時間・参加者の範囲・参加人数・参加者から出された主な感想・意見	2時25分～3時30分 校内教職員3人, 校外教職員1人, 県教委2人 実験で生徒の思考をよりアクティブにするにはどうしたらよいか, 改善点を話し合った. ・実験で確かめてみたくなるような問をたてる. ・実験方法, 機材, 材料の選択肢を増やし, 生徒に選ばせる. ・プリントを活用して生徒が活動する時間を生み出す. ・最後にアウトプットする(本時にわかったことを隣に説明するなど).						
成果と課題	有限な時間の中で教育効果を上げる(生徒の思考をよりアクティブにする)方法について, 授業を実例に議論することができてよかった. 小中学校が常々授業で目指している方法であるが, 高校での取り組みはまだまだである. 今回の指摘を理科及び全校の職員で共有したい.						